



(写真・文 水中カメラマン 佐藤長明さん)

ハリセンボン

季節来遊魚と言われ、黒潮に乗り南からやってくる魚種のひとつです。

針千本飲ーます!?

小さい頃に約束事をするとき「指切りげんまん」というフレーズの歌を何気なく口ずさんでいたのを憶えています。この歌を思い出すと、当時はよく知らずに使っていた恐ろしい歌だった事に気が付きます。

辞書を引いてみると「げんまん」は「拳万」で、「げんこつを1万回」という意味と記載されているじゃありませんか！さらに歌詞では「針千本飲ます」と続いています。一説によると、ここで言う「針千本」は「魚のハリセンボン」であると言われていますが、これは間違いらしく「針」そのものが正しいようです。どちらが正解にしても、写真のような生き物を飲めと言われるのはぞっとしますね。

今月は写真を見ながら歌詞を思い返し、厳しい残暑が少しでもしのげればと思い、ちよつと怖めの写真を紹介しました。

編集後記

▶風鈴の音、セミの鳴き声、そして海水浴場から聞こえる子どもたちがはしゃぐ声。皆さんの夏はどうでしたか？南三陸町の夏まつりも盛會に終わった今、涼しい秋の夜風を感じながら、私は星空に向かってこうつぶやくのです。「南三陸町に生まれて良かったなあ…っていうかロシアに生まれなくて良かったなあ」と。

▶ロシアの民俗芸能で知られるコサックダンス。腰を低く下げて腕を組み、両足を交互に振り上げて踊る姿は、皆さんもテレビなどで見たことがあると思います。もともと、ウクライナの軍人が体を鍛える際の曲芸的なテクニックであったこの踊りは、18世紀ころロシア政府によって一度は廃止されたそうです。まさに、復活を遂げて世界中の人々から愛される踊りとなったコサックダンスですが、夏まつりの取材での疲れがたたり「痔病」が発症した私にとって、それは死の踊りであり、もしロシアに生まれていたら、週末のホームパーティーで踊るたびに出血するはめに…。本当に南三陸町に生まれて良かったと思うのです。それでは葉を塗る時間になったので、このへんで失礼します。

担当 加藤

わが家のアイドル



こうたろう
山内 皓太郎くん

(◎五日町)

平成22年1月12日生まれ

パパ 恭 輔さん

ママ 真由美さん

おうちの方から一言

こうちゃんが生まれて早半年、あっという間だったね。感情豊かなあなたに家族みんなメロメロだよ！大きくなったら、一緒にたくさんお出かけしようね。

いつも笑顔をありがとう。愛してるで♡